

奈良県立医科大学附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

下記の概要についてご確認いただき、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、試料・情報を用いませので、以下の「問合せ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

下記の研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会（以下、「倫理審査委員会」と略します）で審査され、奈良県立医科大学学長の許可を得て行います。

① 研究課題名	外来調剤における渡薬待ち時間軽減の重要評価指標による患者サービスレベル向上への業務改善活動			
② 研究期間	学長許可日（2022年7月22日）から2022年8月31日			
③ 対象患者	対象期間中に当院外来を受診し、院内の薬局で薬を受け取った患者さん			
④ 対象期間	2015年10月1日から2020年1月31日			
⑤ 研究機関の名称	奈良県立医科大学附属病院 薬剤部			
⑥ 研究責任者	氏名	青井 博志	所属	薬剤部
⑦ 使用する試料・情報等	院内の薬剤部門情報より、平日の8:30~17:15に当院で調剤された処方箋の枚数、調剤時間、半錠に割ることが必要な薬品とその調剤数を抽出し調査します。また、会計計算が終わった時間も調査します。			
⑧ 研究の概要	<p>外来患者さんのお薬をお渡しする際に待ち時間が発生し、ご迷惑をおかけしていますが、薬剤部では業務の工程を見直したり業務を効率化したりすることで、この待ち時間軽減に取り組んでいます。薬の待ち時間は、会計処理を経て精算を終えてから薬局窓口でお薬番号が表示されるまでの時間となりますが、この待ち時間を病院内の情報を用いて数値化することは現状ではできません。薬の待ち時間と調剤時間の関係は明確ではありませんが、会計処理時間内に調剤業務が完了していれば、薬の待ち時間は発生しないと言えます。そこで、処方箋が発行されてから会計処理終了までの時間と連動する調剤払出率という指標を作り、これまでに行われてきた業務改善活動の効果を評価します。具体的には、半量規格薬品採用による業務効率化（2017年12月）や予備監査廃止による調剤フローの見直し（2019年1月）の業務改善活動が実施されてきました。業務改善によって調剤時間が短縮され、この調剤払出率が上昇すると、薬の待ち時間が発生する患者さんの割合は相対的に減少すると考えられます。また、同時に調剤エラー発見率や処方箋の処理枚数などを調査することで、作業の効率や安全性について評価を行います。</p>			

	このような評価指標を用いて、これまでの業務改善活動の成果を明らかにすることで、患者さんへのサービスレベルのさらなる向上につなげていくことが期待できます。		
⑨ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2022年 7月 22日	
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下⑬の問い合わせ先・相談窓口にご連絡ください。		
⑪ 結果の公表	学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。		
⑫ 個人情報の取扱い	カルテ ID や氏名などの個人情報を研究用 ID に置きかえて使用するため、あなたの個人情報が外部へ漏れることはありません。カルテ ID と研究 ID の対応表は厳重に研究責任者において管理されます。研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。		
⑬ 問い合わせ先・相談窓口	奈良県立医科大学附属病院 薬剤部 担当者：青井 博志		
	電話	0744-22-3051（代表）	FAX 0744-29-8027
	Mail	aoi@naramed-u.ac.jp	